

サン介護新聞

第183号
令和7年5月号



買い物困難者 9割「対策必要」

農水省は、高齢化や小売店の減少などで、食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる「買い物困難者」の調査結果を公表。88%の市町村が買い物困難者の対策が必要と回答。2017年度以降、対策を必要とする市町村は増加傾向にあり食品アクセス問題が重要な社会問題になっていることが浮き彫りになる。人口規模の小さい都市ほど、買い物困難者の対策を必要とする回答の割合が高く、対策の必要理由は「高齢化」が最多で「地元小売業の廃業」「中心市街地、既存商店街の衰退」と続く。対策が必要とした910市町村のうち、行政が民間事業者により対策が実施されている割合は89%。具体的な行政の対策として「コミュニティバス、乗合タクシーの運行に対する支援」が81%、「移動販売車の導入・運営に対する支援」が34%、「買物支援バスの運行に対する支援」が15%に。対策を実施していない市町村の理由は「どのような対策を実施すべきかわからない」の割合が最も高く、「財政上の問題から対策を実施できない」の割合も2割と高かった。

救急出動最多771万件

総務省消防庁は2024年度の全国の救急車出動件数（速報値）が前年比1.0%増の771万7123件だったと発表する。搬送人数も1.9%増の676万4838人で、いずれも3年連続で過去最多を更新した。消防庁は「高齢化が進み搬送要請が増えているのが主な要因」と分析している。全体のうち「急病」が67.3%、519万5253件。次いで転倒などの「一般負傷」が15.9%、「転院搬送」が7.5%、「交通事故」が5.1%だった。搬送人数を年齢区分別で見ると、65歳以上の「高齢者」が4.6%増の428万2228人。全体の63.3%を占める。

今月の1枚



「藤」

引き取り手のない遺体

親族ら引き取り手のない遺体が、2023年度に全国で推計約4万2千人にのぼることが厚労省の調査で明らかになる。遺体や遺骨に関する手順を作成している自治体は、全体の約1割にとどまっている。厚労省から委託を受けた日本総合研究所が調査し全国の約1160自治体から得られた回答を分析、推計する。結果、引き取り手のない遺体は、23年度で4万1969人になると推定。23年の死亡数の2.7%に相当するという。一方で、引き取り手のない遺体や遺骨に関するマニュアルや内部規定の有無を尋ねたところ、内部規定が「ある」とした自治体は全体の11.3%だった。

外国人介護士、合格者倍増

2024年度の介護福祉士国家試験で、経済連携協定(EPA)に基づきインドネシア、フィリピン、パトナムから来日した人の合格者数が、過去2番目に多い498人だったと発表。前年度の228人から倍増。合格率は37.9%。国別で合格者数を見ると、インドネシアが237人で最も多かった。

身寄りのない高齢者支援を拡充

厚労省は、身寄りのない高齢者への支援を拡充する方針を固めた。入院時の身元保証や死亡後の手続きを担う民間サービスは料金が高額なため、利用できない低所得者ら向けに新たな支援制度を設ける方向だ。各地の社会福祉協議会などが運営することを想定している。来年の通常国会で関連法改正を目指す。1人暮らしの増加や親族のつながりの薄れなどを背景に身寄りのない高齢者は増加すると見込まれる。

疾患リスク通知は「違法」

消費者から直接検体の提供を受け疾患リスクなどを判定する民間の検査ビジネスが多様化しているのを踏まえ、厚労省と経産省は、医師でない無資格の事業者らが検査結果を使って個人の疾患の罹患可能性を通知することは医師法に違反する、との事務連絡を都道府県などに出した。消費者と事業者が唾液や尿などの検体や検査結果を直接やりとりするのは「DTC検査」と呼ばれ、遺伝子解析を売りにするものも多い。厚労省は、市場規模が拡大する一方で品質や信頼性が疑問視されるものもあるとして、医療行為との線引きを明確化し、違法なケースを例示することを検討していた。事務連絡は、医療・介護分野と関係が深い。

サンメディカルの取り組み紹介！

当社は、訪問時の透明性を図る目的でスマートフォンを使用し、訪問時間・場所の管理をしています。施術者は患者様の目の前で「施術開始」と「施術終了」の操作を行っております。



求人のお知らせ

当社では新しい仲間を募集しています。
詳しくはQRコードをチェック！



5月病とは？

春から初夏にかけて、新生活のストレスや環境の変化によって心身の不調が現れる状態を「5月病」と言います。原因を理解し、適切な対策を取りましょう。



【5月病の主な原因】

- 環境の変化 : 新しい職場や学校に適応しきれず、疲れが蓄積する
- ストレスの増加 : 新しい人間関係や仕事のプレッシャーが負担になる
- 生活リズムの乱れ : 新生活により食事や睡眠のリズムが崩れる
- モチベーションの低下 : GW明けにやる気が出ず、無気力感が続く

【5月病対策】

◎ストレスを溜め込まない

無理をせず、適度にリラックスできる時間を確保する
趣味の時間を作り、気分転換を心がける

◎睡眠の質を高める

規則正しい生活を維持し、十分な睡眠時間を確保する
寝前のスマホやPCの使用を控える

◎こまめに体を動かす

長時間のデスクワークや勉強の合間に軽いストレッチをする
休日は自然の中でリフレッシュする

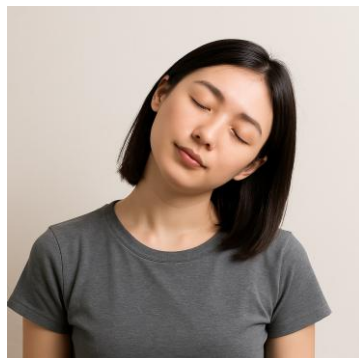
◎人と適度に交流する

1人で抱え込まず、家族・友人と会話する時間を持つ
仕事や勉強の悩みを信頼できる人に相談する



おすすめのストレッチ法

- 1) 首のストレッチ : 首をゆっくり左右に倒し、肩の緊張をほぐす
- 2) 肩甲骨回し : 両肩を大きく回して、肩甲骨周りの血流を促進
- 3) 背伸びストレッチ : 両腕を上には伸ばし背筋を気持ちよく伸ばす
- 4) 前屈ストレッチ : 座った状態で前屈し腰や太ももの筋肉をほぐす



株式会社サンメディカル
SUNMEDICAL GROUP

(編集・発行)サン介護マッサージ営業部

神奈川県厚木市中町2-1-1 (コールセンター)046-401-1580

営業所 秦野・平塚・厚木・相模原・藤沢・横浜・川崎・大和横浜・横浜南営業所・沖縄

株式会社サンメディカルは「かながわSDGsパートナー(第6期)」に登録されました